

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年6月21日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年6月21日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【5号機補機海水ポンプ出口ストレーナー切替弁の点検できなかったことについて】 5号機補機海水ポンプ出口ストレーナー切替弁の軸封部スペーサーの取り外しができなかったことにより、当該弁の点検ができなかった。 原因は、スペーサー外表面または軸封部内面の腐食と推定。 なお、当該弁は点検前に漏えいは発生しておらず、機能上問題なし。 今後、再点検を行い、当該不具合箇所を交換予定。	GⅢ